

書誌第204号  
Pub. No. 204

# 朝鮮南東岸水路誌

S. & E. COAST OF KOREA PILOT

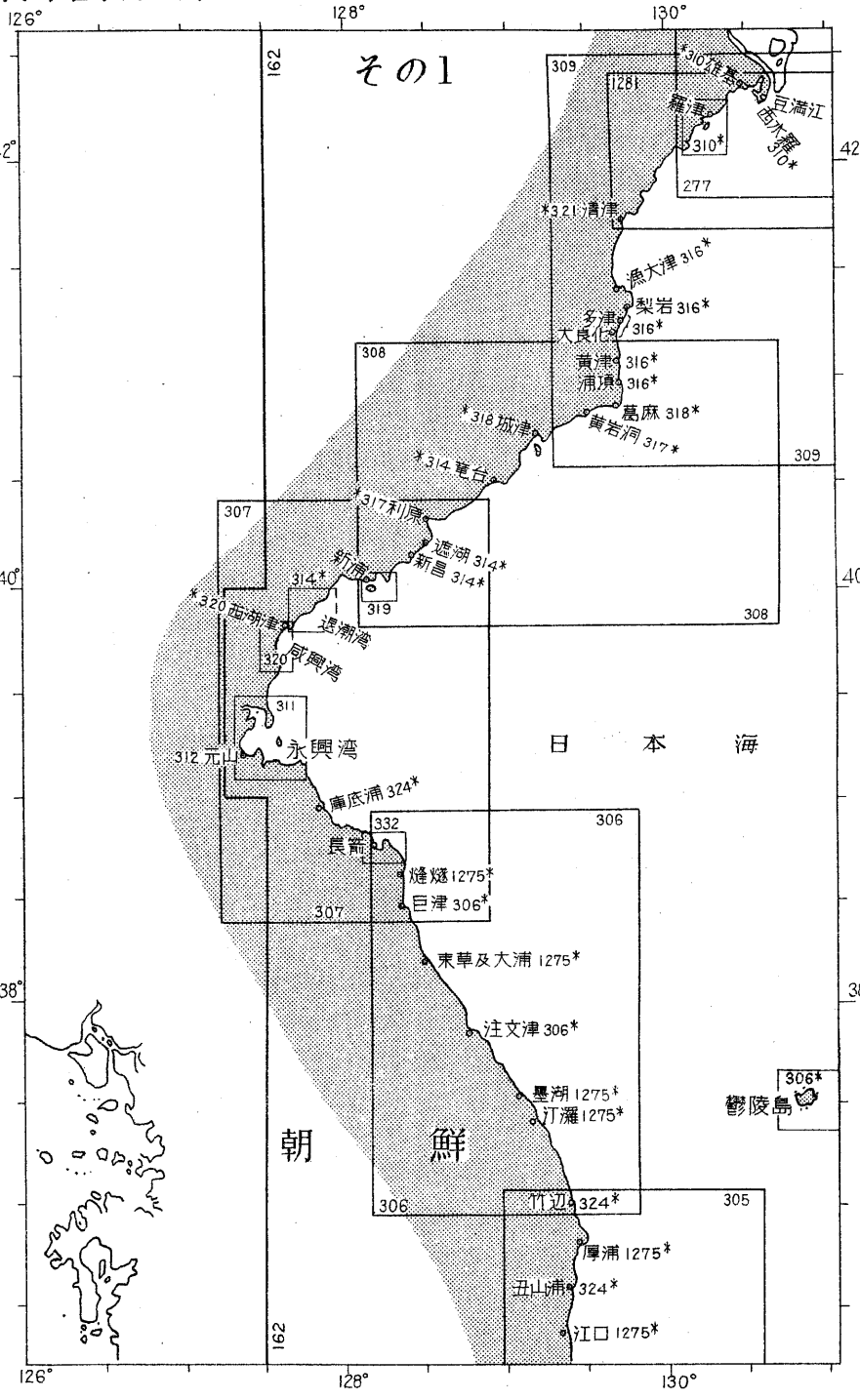
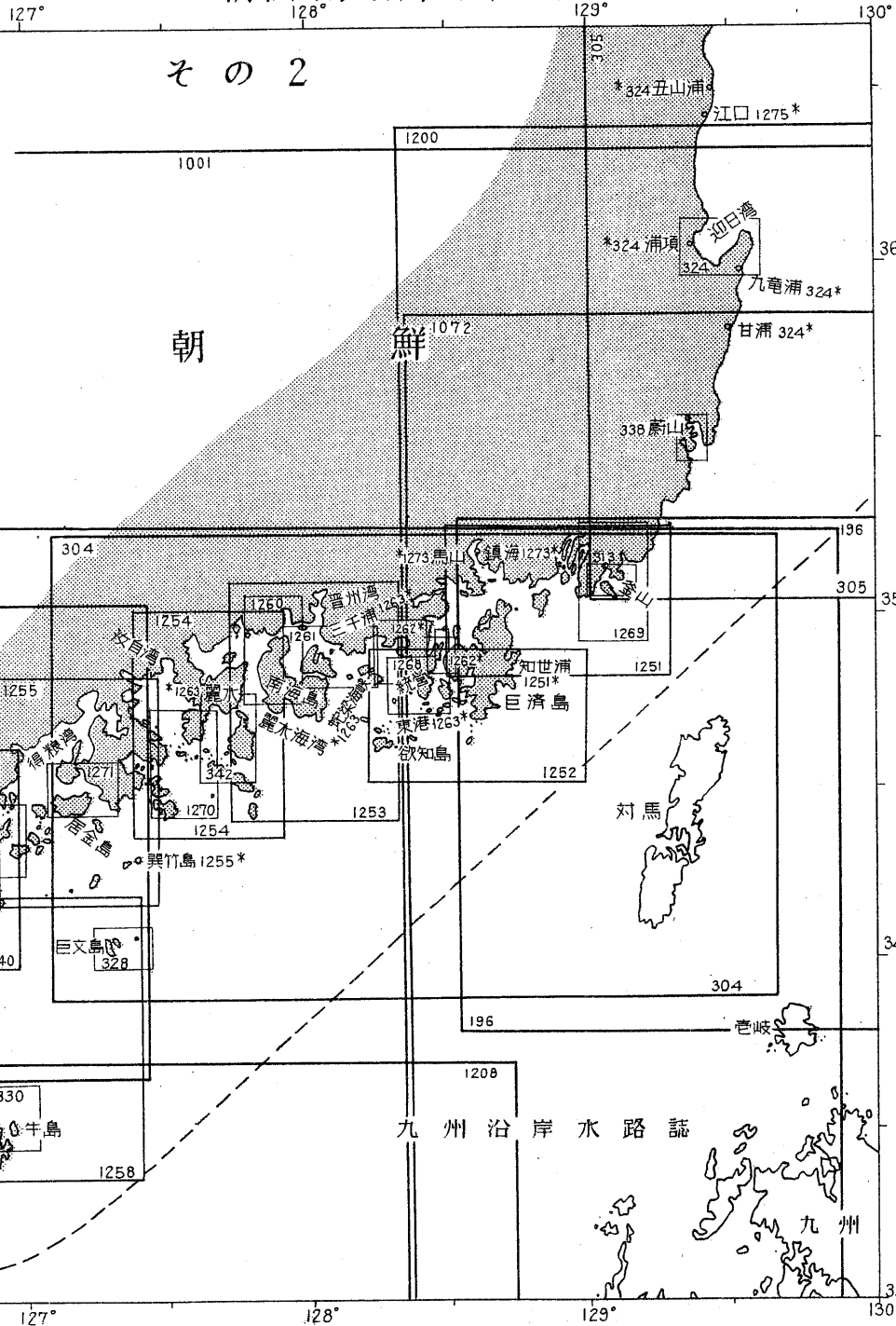
総記・朝鮮東岸および南岸

昭和27年8月刊行



海上保安庁  
MARITIME SAFETY AGENCY  
TOKYO, JAPAN

# 朝鮮南東岸水路誌関係区域および同海図索引



# 朝鮮南東岸水路誌関係区域および同海図索引

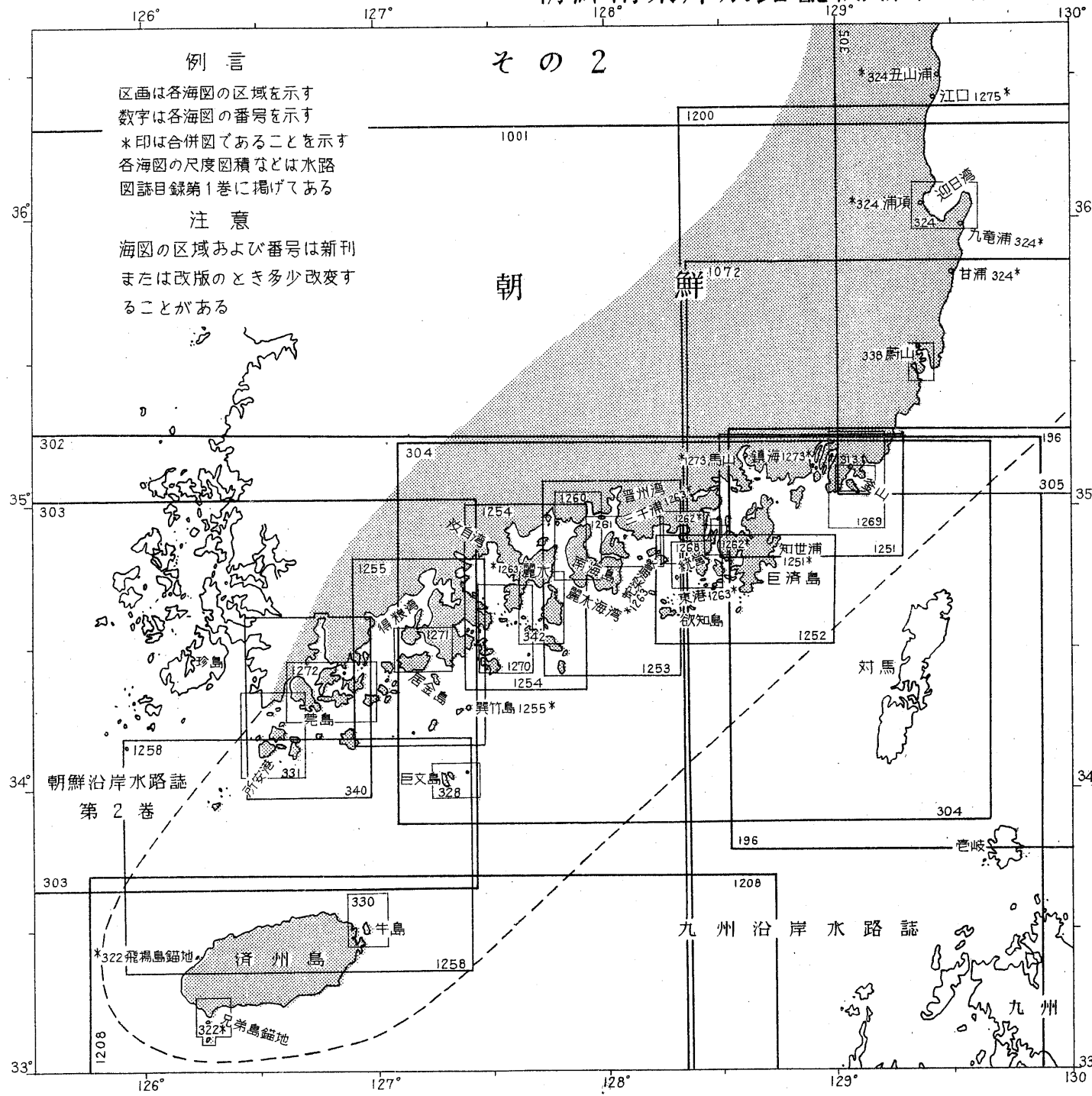
## 例言

区画は各海図の区域を示す  
 数字は各海図の番号を示す  
 \*印は合併図であることを示す  
 各海図の尺度図積などは水路  
 図誌目録第1巻に掲げてある

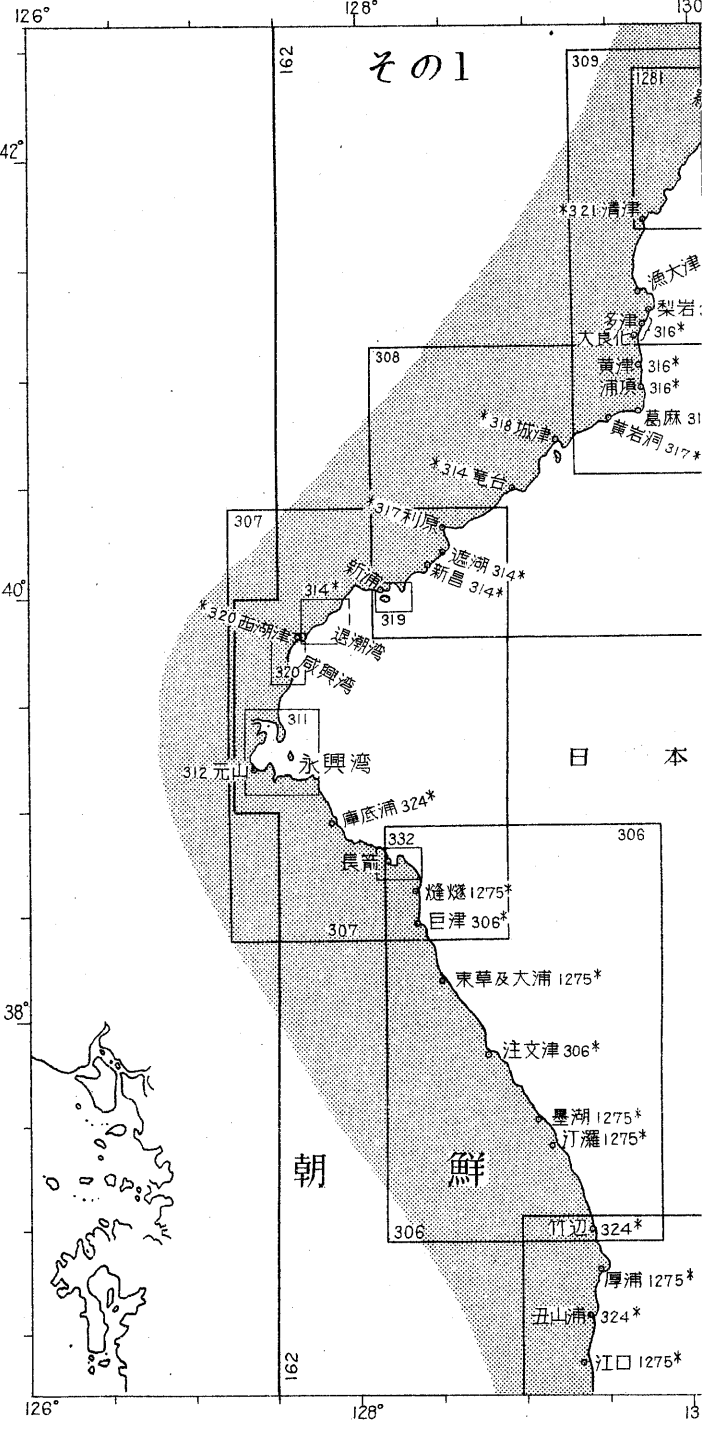
## 注意

海図の区域および番号は新刊  
 または改版のとき多少改変す  
 ることがある

## その2



## その1



## は し が き

第2次大戦以来、長い間この水路誌関係の水域については、現状を知るにも、資料を集めるにも大きな制限を受けるため、余儀なく今回は昭和8年1月に刊行されたものへ次の資料を参考にして、できるかぎりの改訂を加え、文章も読みやすい口語体書き改めた。

- 1 朝鮮沿岸水路誌第1巻追補第6（昭和16年9月刊）
- 2 軍機水路誌第2巻（昭和11年8月刊行）
- 3 Sailing Directions for the Southeast Coast of Siberia and Korea 1947 (United States Navy Department Hydrographic Office) and the above Supplement 1949
- 4 昭和27年6月21日航路告示第25号まで、および、米英水路告示
- 5 大韓民国駐日代表部からの資料

しかし、今後事情の好転するにつれ一層追補、改訂の必要も認められるから使用にあたって十分この点を御了承の上、あわせて一層の御協力をお願いする。なお、従来の朝鮮沿岸水路誌第1巻を朝鮮南東岸水路誌と改めた。この水路誌は図誌課長松崎卓一指導の下に海上保安官亀井七郎に編修させた。

昭和27年8月

海上保安庁水路部長 須田 院 次

## 関係水路誌の沿革

1. 朝鮮沿岸に関する我が国最初的水路誌は明治19年12月刊行の寰瀛水路誌第2巻である。
2. 明治27年11月前記水路誌の中から、その第1編—第4編すなわち朝鮮全岸に関する記事を分離改版し、初めて朝鮮水路誌として刊行した。
3. 明治32年2月朝鮮水路誌第1改版を刊行した。
4. 明治40年3月朝鮮水路誌第2改版を刊行した。
5. 明治44年12月朝鮮水路誌を日本水路誌第6巻と改称のうえ改版を刊行した。
6. 大正6年3月日本水路誌第6巻を日本水路誌第10巻と改称した。
7. 大正9年4月日本水路誌第10巻中の第1編—第3編すなわち朝鮮の総記、朝鮮東岸および南岸の記事を分離改版し、日本水路誌第10巻上と改称のうえ刊行した。
8. 大正9年4月日本水路誌第10巻中の第4編と第5編すなわち朝鮮西岸に関する記事を改版し日本水路誌第10巻下と改称のうえ刊行した。
9. 昭和5年12月日本水路誌第10巻上を朝鮮沿岸水路誌第1巻と、日本水路誌第10巻下を朝鮮沿岸水路誌第2巻とそれぞれ改称した。
10. 昭和8年1月朝鮮沿岸水路誌第1巻を改版刊行した。
11. 昭和9年8月朝鮮沿岸水路誌第2巻を改版刊行した。
12. 昭和27年9月朝鮮沿岸水路誌第1巻を朝鮮南東岸水路誌と改称のうえ改版刊行した。

高いときには舟を着けられない。

**竹辺里** 湾の奥の竹辺里には郵便所・警察官駐在所がある。

**交通** 竹辺里から蔚珍・三陟へバスが通っている。

**物産** 産物としては水産物が多少あるにすぎなく、竹辺里の北西方約39 kmの上長面と、所達面に豊富な炭鉄を発見したが、まだ多量な産出はない。

**供給品** 食料品は土地の需要にさえ不足し、蔚珍から移入されている。飲料に適する井戸は6箇所あるが、船舶への供給設備はない。

### 鬱陵島

**鬱陵島〔松島〕** (海図306分図) 龍湫岬から69°約135 kmにある周囲約

10 41 kmの半円形の島で、多数のとがった円錐形の山があって、木が茂っている。海岸附近は住民の増すにつれて開拓されたり、乱伐されたりしたため所々にはげ山がある。島の中央部(37°30' N., 130°52' E.)の所に、高さ985 mの**聖人峰**(羅里山)がそびえている(第44ページ対面对景図第19・20・21・22・23・24参照)。

島の沿岸には多数の岩の小島があって、東岸と北岸にある数岩は高さ61 mから122 m以上もある。島の北東端近くに**三兄弟岩**という三つ並んだ岩があり、いずれも柱のように立ち、中央の岩は高さ109 mで最も大きい。日本人は、これを**三本立**といっている。

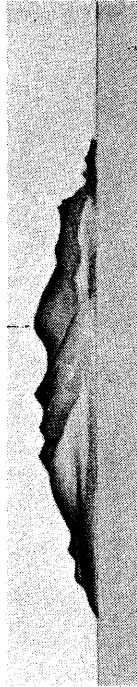
島の北岸のほぼ中央にある**孔岩**は、高さ69 mで天然の弓形をした門がある。また、この岩のほとんど対岸に突き出た棒形の花こう岩の**錐山**(高さ452 m)は、顕著な目標である(第44ページ対面对景図第23参照)。

島の北西端を**待風坎**(タイフウカン)(黄土金末)といい、高さ155 mで頂はとがっている。島の南端である**間嶺末**は高さ197 mのがけの岬で、日本人は、これを**国見埼**といっている。この岬の南方約460 mの所に、水深7.7 mの暗礁がある。**杏南末**(沙空南末)は東岸の中部に突き出た高さ118 mの岬である(第44ページ対面对景図第24参照)。

島の周囲はがけて、海は急に深く、200 m等深線は約1.8 kmの沖合にある。

鬱陵島 その1

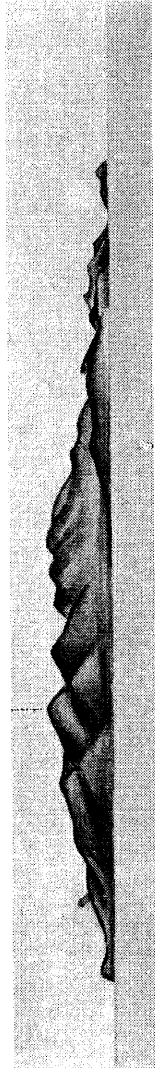
50°50 M



第19

鬱陵島 その2

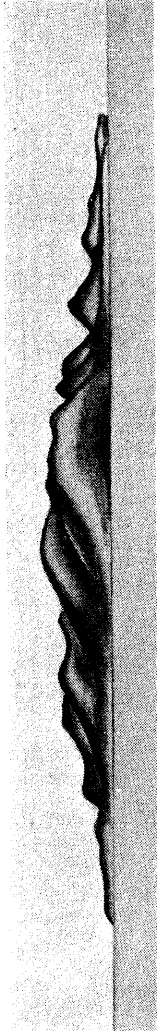
87°38 M



第20

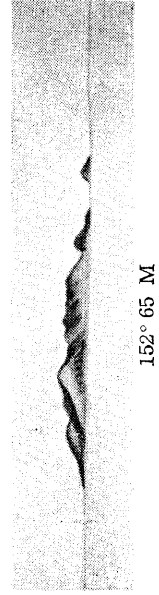
鬱陵島 その3

137°44 M



第21

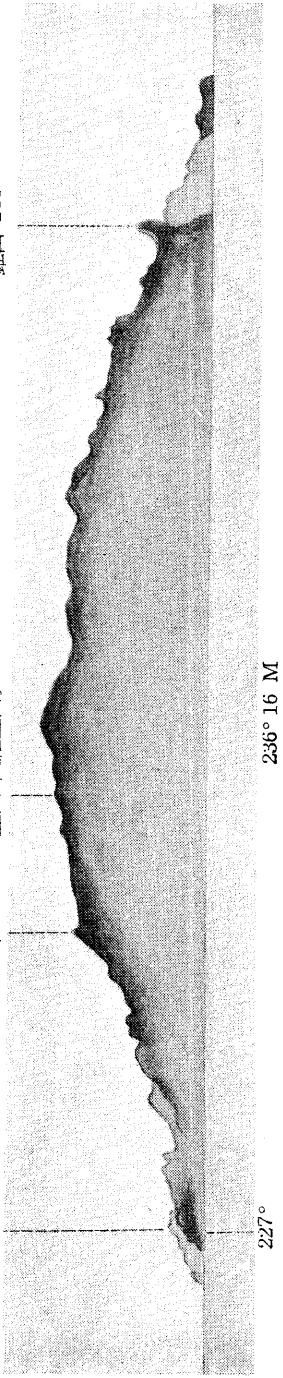
鬱 陵 島 その 4



第 22

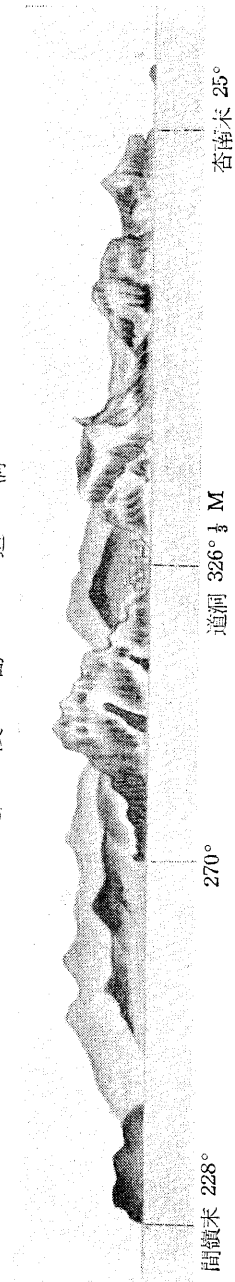
鬱 陵 島 その 5

白色の山 227°  
 尖峰 231°  
 聖人峰(羅里山) 244°



第 23

鬱 陵 島 道 洞



第 24

杏南末 25°

道洞 326° 3 M

270°

間嶺末 228°

一部にいそ浜の所があって静かなときは小舟を着けられるが、その他の所へは近寄れない。

**竹島**（竹嶼）は島の東岸から約2 kmの所にあり、高さ129 mで周囲には岩礁が多く、頂は平らで大木が茂っている。

**雙頂礁** 竹島の頂から4°約3 kmにある、水深0.9 mと1.3 mとの礁で、荒天のときには破浪する。この礁から孔岩を見ると方位257°で、三兄弟岩の北西岩と鬱陵島の北東岸との中央にあたっている。

**気象** 鬱陵島では寒暑ともにあまり厳しくない。4月—11月の間は偏南風が多いが、9月には北東風もしばしば吹く。12月から翌年3月の間は北東風が多い。

一般に1年を通じて風力は強く、ことに冬季は北東風の強吹することがある。6月—8月の間は霧の発生が多い。降雪は11月中旬から翌年4月上旬であって、山頂には5月ごろまで雪の残ることがある。この島はきわめて健康に適し、天然痘の発生したことがなく、島の住民はこれを水質のよいためであるといっている（附表第4鬱陵島気象表参照）。

**潮流・海流** この島の附近では潮流というほどのものもなく、わずかに0.8 kt以下の偏東海流を認めたにすぎない。これとても天候の模様や風向などによって多少の変化がある。

**泊地** この島で船舶の停泊に適する所は、東岸に沙洞・道洞・芋洞の3箇所があるにすぎない。

**沙洞泊地**は間嶺末の北東方約2.8 kmにあつて、西から北の風を防ぐ。

**芋洞泊地**は杏南末の北北西方1.3 kmにあり、底質は砂、水深は適当で西寄りの風によい泊地である。

芋洞泊地の北北東約460 mにある**冑島**（北岩）という高さ42 mの岩の小島は頂がとがっていて、日本人は兜島といっている。

**目標** 北方からこの島へ行くには、聖人峰は最も良い目標で、接近すれば、918 m山や錐山（高さ452 m）などのとがった山々や竹島（竹嶼）なども顕著

で、三兄弟岩・孔岩・竹岩などが柱のように海岸に立っている。高さ108mの観音島(鼠頂島)の北東方約2kmに、2頂の礁がある。亭洞泊地へはいるには、高さ723mのものがった山が最もよく、胃島もまたよい目標である。

**住民** 鬱陵島は行政上慶尙北道に属し、3面9洞に分れている。

**道洞港** 間巖末の北東方約4.6kmにあって、北一西の風にはよいが東一南の風にはよくない。海底の傾斜が急で、海岸から800mの所で水深182mになり、底質は砂か岩で好錨地ではない。海岸から250—280m・水深32—36mの所にわずかに停泊所があるが、底質が岩で、海底の傾斜が急であるから走錨に注意を要する(第44ページ対面対景図第24参照)。

10 **港界** 道洞の北東突端から南西突端に引いた線以内である。

**道洞** この島のおもな部落で、やや市街の形をしていて、島庁・警察署・郵便所、不完全な避病院などがあり、海岸には防波堤がある。

**上陸所** さんばしが無いので小舟は砂浜に引き上げるのが普通で、沙洞・亭洞も同様である。

**船舶造修** 道洞に小規模の鉄工所があり、漁船の簡単な修理ができる。

**道洞港防波堤燈柱** 防波堤の先端にあり、白塗八角形コンクリート造で、燈高は平均水面上9.3mである(1948年消燈)。

**物産** 農産物は大豆・麦・馬鈴薯、水産物はいか・あわびで、漁期は5月—9月である。けやき・松などの木材が多い。また養牛が非常に盛んで移出している。

20 **清水** 井戸水は良質であるが給水設備がない。

**移出品** 海産物・牛・まゆなどである。

**移入品** 織物・セメント・酒・たばこ・食塩などである。

**交通** 島の周囲に道路はあるが、すこぶる不完全で歩行すら危険であるから、島内の貨物の運搬はすべて舟によっている。

**通信** 道洞郵便所で水底電線による電信を取り扱っている。

**水底電線** 島根県千酌と、咸鏡南道徳源郡県面蓮斗島里とへ通ずる水底電

線があり、沙洞に陸揚し、沖合720mまでは各線の左右50m以内、その他は180m以内を線路区域に指定してある。

## 竹辺湾—水源端

**海岸** 龍湫岬から水源端まで約210kmの海岸は、出入がきわめて少く、わずかにある港灣もおおむね南東か東へ開いてただちに海洋に面しているから、よい錨泊地はない。この海岸はがけが多く、水深は海岸から急に深くなっているが、低い海岸や砂浜の所も所々にある。島や離れ岩・暗礁などは北半部に少しあるが南にはほとんどなく、約2.4km以上の沖合には皆無である。この沿岸の内陸は、山脈がだいたい海岸線と並行に南北へ走って高い山が続き、松・杉などがよく茂っている。所々に奇形の岩石が高くそびえ、雄大な景色である。海岸に近い山は多くはげ山で、谷川の流れている所には青々とした耕地もあり、牛を飼い米・麦・豆などが作られている。

**江原道沿岸の気候および風系** 地方民の言によると、1月は常に偏西風が吹き降雪を伴い、海上は風波が高い。2月は偏北西風が強く砂じんを巻き上げ、風がやめば降雪となる。この月は1年中で最も降雪が多く、かつ波が荒い。3月も2月に引続き偏北西風が強く波は荒いが、降雪はやや減少する。4月上旬にはまだ偏北西風が強吹するが、しだいに風向は南に転じ、下旬には南東風となる。5月は気候が最も温和で海面も静穏であるが、しかし海霧がしだいに発生するようになる。6月には海霧がしばしば襲来し、中旬ごろから本邦のように梅雨となる。7月は6月とほぼ同じであるが、1年中で最も降雨が多い。8月は月上旬には好天気が多いが、下旬には天気が変わりやすく、毎年偏北東あるいは偏南東の風雨があって大暴風雨となることがある。9月は風向が不定で、高山の頂は常に雲におおわれているが降雨は少い。10月はだいたい9月と同じで、11月は偏北西の風となり、天候は不良で、漁業は休止期となる。また時には大風が吹き家屋を吹き飛ばすことがあり、降雪も始まる。12月は偏西の強風が吹き、海上ではしだいに風浪が高くなりしけてくる。

1年を通じ偏北東風が吹くときは曇天を常とし、雨に伴って霧の多く発生する

昭和 27 年 10 月 27 日 印刷  
昭和 27 年 10 月 30 日 発行

発 行 者 海 上 保 安 庁  
東京都千代田区霞ヶ関 2 丁目 1 番地

編修兼印刷者 海上保安庁水路部  
東京都中央区築地 5 丁目

〔定 価 金 600 円〕

### 水 路 図 誌 販 売 所

東京都江東区深川佐賀町 1 丁目 34 番地の 3	日本郵船株式会社
東京都千代田区丸ノ内 2 丁目 2 番地 (丸ビル 2 階)	日本郵船丸ビル販売所
東京都港区芝海岸通り 3 丁目 1 番地	日本郵船芝浦事務所
東京都中央区京橋 1 丁目 2 番地 (セントラル・ビル 3 階)	社団法人日本船主協会
東京都中央区築地 3 丁目 10 番地 (懇和会館内)	日本水路図誌株式会社
横浜市中区海岸通り 3 丁目 9 番地 (横浜ビル内)	日本郵船横浜支店
名古屋市中区天王崎町 4 番地	日本郵船名古屋支店
大阪市西区川口町 26 番地	日本郵船大阪支店
神戸市生田区海岸通り 1 丁目 10 番地	日本郵船神戸支店
神戸市生田区海岸通り 5 番地 (大阪商船ビル 4 階)	阪神地区船主会事務局
神戸市生田区海岸通り 5 番地 (大阪商船ビル 7 階)	日本水路図誌神戸支店
門司市門司字棧橋通り 1 番地の 1	日本郵船門司支店
門司市港町 2 番地の 5 (大阪商船ビル 4 階)	南部地区船主会事務局
若松市南海岸通り 1 丁目 954 番地	日本郵船若松支店
佐世保市山県町 23 番地 (佐世保海運内)	日本郵船佐世保事務所
長崎市常盤町 4 番地	日本郵船長崎事務所
函館市船場町 19 番地	日本郵船函館事務所
室蘭市海岸町 22 番地	日本郵船室蘭支店
釧路市錦町 3 番地の 7	日本郵船釧路出張所
小樽市手宮町 3 丁目 15 番地	日本郵船小樽支店
東京都千代田区神田神保町 1 丁目 23 番地	地図共販株式会社 (雑用海図だけ販賣)

以上のほか清水市・福岡市・松江市・新潟市・塩釜市に日本郵船販売所があり、なお、清水市・焼津市・和歌山県勝浦町・長崎市・酒田市・秋田市・茨城県那珂湊町には日本水路図誌販売所があります。